

みずほCustomer Desk Report 2018/06/19号(As of 2018/06/18)

国際為替部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	110.55
TKY 9:00AM	110.64	1.1593	128.26	GBP/USD	1.3275
SYD-NY High	110.67	1.1624	128.50	AUD/USD	0.7440
SYD-NY Low	110.30	1.1566	127.82		0.7455
NY 5:00 PM	110.54	1.1624	128.49		0.7414
NY DOW	24,987.47	▲ 103.01	日本2年債	-0.1400	0.00bp
NASDAQ	7,747.03	0.65	日本10年債	0.0300	0.00bp
S&P	2,773.75	▲ 5.91	米国2年債	2.5513	0.00bp
日経平均	22,680.33	▲ 171.42	米国5年債	2.7915	▲ 0.68bp
TOPIX	1,771.43	▲ 17.61	米国10年債	2.9160	▲ 0.55bp
3ヵ月日経先物	22,695.00	▲ 105.00	独10年債	0.3975	▲ 0.40bp
ロンドンFT	7,631.33	▲ 2.58	英10年債	1.3215	▲ 0.30bp
DAX	12,834.11	▲ 176.44	豪10年債	2.6620	▲ 2.40bp
ハンセン指数	-	-	USDJPY 1M Vol	6.65	0.20%
上海総合	-	-	USDJPY 3M Vol	7.21	0.13%
NY金	1,280.10	1.60	USDJPY 6M Vol	7.83	0.15%
WTI	65.85	0.79	USDJPY 1M 25RR	-0.90	Yen Call Over
CRB指数	196.18	▲ 0.05	EURJPY 3M Vol	8.98	0.23%
ドルインデックス	94.80	0.01	EURJPY 6M Vol	9.25	0.26%

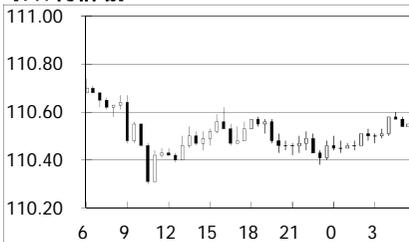
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
6月18日	08:50	日 貿易収支	5月 -¥578.3b	-¥205.2b
6月19日	02:00	米 ボスティック・アトランタ連銀総裁 講演	「年内利上げ、3回がなお適切」	

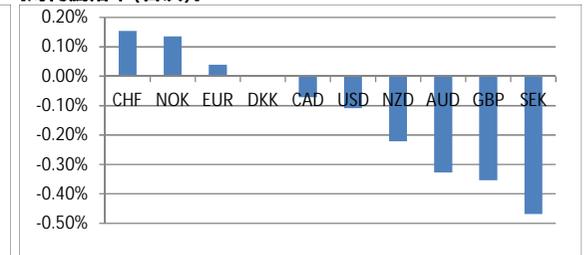
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
6月19日	17:00	欧 ドラギECB総裁 講演	-	-
	17:30	欧 プラートECB専務理事 講演	-	-
	20:00	欧 プラートECB専務理事 講演	-	-
	21:30	米 住宅着工件数/建設許可件数	5月 1311k/1350k	1287k/1364k

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	109.80 - 110.80	1.1550 - 1.1700	127.70 - 128.60

【マーケットインプレッション】

昨日のドル/円相場は110円台での狭いレンジ内での値動き。東京時間においては近畿地方における地震や米中貿易摩擦懸念を背景に日経平均株価が軟調推移となるとドル/円も110.30まで下げる局面もあったが、その後は下げ止まり110円台半ばを回復。海外時間においては特段の新規材料ない中で110円台半ばは近辺での方向感に乏しい推移が継続。結局110.54レベルでクローズした。本日のドル/円相場は引き続き方向感に乏しい推移を予想。先週は各国の金融政策決定会合が相次ぎ、改めて日米金融政策の格差が意識される格好とはなったものの、米中貿易摩擦に対する警戒感が残るままでは上値を追う動きも限定的となりそうだ。

東京	朝方に本邦5月貿易収支の結果が発表され、市場予想を上回る赤字額となったものの、市場の反応は限定的で東京時間のドル円は110.64レベルでオープン。前営業日比マイナスで寄り付いた日経平均株価が米中貿易摩擦懸念の高まりや近畿地方での震災の影響を受けてマイナス幅を拡大する展開となると、ドル円も連れ安となり110.30まで下落。その後は下げ止まったものの、戻りは鈍く110円台半ばは近辺での方向感に乏しい推移が続いた。結局、110.52レベルで海外へ渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン市場のドル円は110.52レベルでオープン。材料薄の中、狭い値幅での取引に終始し同レベルでNYに渡った。ユーロは1.1594レベルでオープン。早朝より独立立政権内の移民政策を巡る対立が報じられたことからユーロが一時的に1.1566まで売られる場面もあったが、徐々に値を戻し1.16台を回復。1.1615レベルでNYへ渡った。ポンドは1.3267レベルでオープン。引き続きブレジット法案を巡る政治情勢が嫌気されポンドは上値重く推移。じり安推移となり1.3244レベルでNYに渡った。(ロンドン17:00)
ニューヨーク	海外市場では米中の追加関税による貿易戦争懸念再燃や大阪北部で発生した地震を背景としたリスクオフの買いが進みドル円は110.30まで下落するが、200日移動平均となる110.25近辺では買い意欲が強まり110.61まで上昇し、110.47レベルでNYオープン。10時のNYオプションにかけて110.38まで下落するが、110.50まで回復。終盤にかけて110.59を付ける局面もあったが、その後は伸び悩み結局110.54レベルでクローズ。一方、「ドイツのメルケル連立政権の2党が移民政策で対立している」との報道を受け、海外市場はユーロ売りで反応しユーロは1.1566まで下落するが、この水準ではユーロ買い意欲はあり1.1624まで戻し、1.1615レベルでNYオープン。朝方はECB政策委員会メンバーのバリアクスカ・リアア中銀総裁が「中期的にユーロ圏に曇りなし」と発言をしたが、ユーロの反応は限定的だった。その後、早朝のユーロ買いが一服したことから1.1596まで下落し、1.1600レベルを挟んでもみ合い。ロンドン夕方にかけて1.1620をつけるが、1.1602まで反落する。本日からシムラでECBフォーラムが開催されており、19日にドラギ総裁の講演、20日に日米欧の中銀総裁を交えたパネディスカッションを控える中、様子見ムードが強まった後は開散な推移が続き、1.1624レベルでクローズした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 森谷・森谷